

南高 同窓会会報

発行所
四日市市大字日永岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
TEL.059-345-3177
www.4nan.jp/dousou/



ご挨拶

会長 粕谷 邦男

同窓生の皆様には、ご健勝で益々のご活躍を心よりお慶び申し上げます。

あの「三・一一」大震災以降の日本の状況は、いまだに我々の生活基盤を揺るがしています。地震、津波とともに原発、風評の問題が高まり、復興どころか先の見えない日々が続いています。政治の混乱、景気の落ち込み、「絆」を歌い上げながらの人々の無情さ、身勝手さ。殺伐としたこの世に一輪の花も咲かないのだろうか、とさえ思えてきます。多くのボランティアの方々の力、東日本への熱い思いを風化させないことが大切です。去る二月二十九日、四日市南高校を卒業する三年生の同窓会入会式に出席しました。彼ら十八才の何と初々しい姿、態度、表情。忘れかけていた大切な宝物を見た思いがしました。我々の

後輩は実に明るく、そして頼もしい。学校の評判の良さとともに、先生方のご指導の賜物と感謝しています。「四日市南高校ここにあり」と、必ずやこの四日市、日本、いや世界をリードしてくれると信じています。

本同窓会も一万九千人を超える会員の皆様が登場が丘を卒業され、国内外で活躍されておられます。誠に敬服する次第です。本同窓会の一層の充実、発展には、皆様のご支援無くしては始まりません。会長として、同窓会の位置づけや、今後どうあるべきかを考えるにつけ、日々頭を悩ませております。折り返しも「近鉄内部・八王子線廃線」が話題となっています。四日市南高校生のみならず、多くの学生・生徒ならびに地域の皆様の足が奪われようとしています。今総会では、「近鉄内部・八王子線

廃線」に関する現状報告と、同線存続に向けてのご協力・ご支援をお願いすることになると思えます。ぜひ、総会に足をお運びいただき、皆様のお力添えをお願いしたいと、切に願う次第であります。



同窓会からの寄贈品の旗

本年度から、四日市南高等学校長として赴任いたしました田中真司と申します。

私自身地元の出身で、笹川通りがまだ農道だった時代、電車が伊勢八王子まで通じていた時代より、白亜の殿堂を見上げながら過ごしてまいりました。本校の校舎より遠く伊勢湾、鈴鹿の山並みを見渡すと、歴史や社会の変遷に思いが巡り、身の引き締まる思いがいたします。

同窓会員の皆様には、母校のために平素より多大のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。本校は昭和34年に創立以来、本年度で54年目を迎え、19、428名の卒業生を輩出してまいります。そのお一人ひとりが、各方面でご活躍をされていることは本校の誇りとするものであります。さらに桜の咲き乱れる坂を登り、「登城ヶ丘の草の上、ひたむきに若さを生きた」校歌を共に歌った絆は、空間を越え、時代を超え、深く繋がり、在校生にも「南



ご挨拶

学校長 田中 真司

高オラ」として受け継がれていきます。

本年度の本校の目指す学校像は、「豊かな人間性を育てることを基本に据え、生徒の可能性を引き出し、学力の伸長と進路希望の実現を図る」といたしました。年ごとに進学実績も伸長しておりますが、さらに社会に出たとき、「背骨がしつかり」とし、社会に貢献できる人材」として活躍できるよう、豊かな人間性、基本的人間力の育成に力をいれてまいります。

生徒たちは、勉学に非常に熱心に取り組む、早朝や土日に教室で勉強している生徒、課外授業に取り組み生徒も多数います。また、学校行事も非常に盛り上がり、去る5月31日に行われた体育祭では、生徒の集中力と集団力を兼ね備えた「みなみのみんな力」が如何なく発揮されました。保護者や卒業生の参観も300名以上あり、絶大な拍手を戴いたところです。

放課後の南高校も活気にあふれ、夏の大会に向けた運動部や文化部の活躍を含め、本校に脈々と伝わる青春の力が、この登城ヶ丘には渦巻いています。この伝統の力を享受しつつ、

日々々の生徒達の落ち着いたそれであり一生懸命な生活態度も、本校の誇りとするものです。朝の登校時に明るく元気に、笑顔であいさつをする生徒たちからは、日本の将来の息吹が感じられます。

その生徒の皆さんや保護者の方の希望を実現すべく、また「この国はわれらがひらくふるさとの誇りを胸に」の校歌にあるよう、日本の将来を担える人材を輩出すべく、教職員一同、学校経営に一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。どうか変わらぬご支援、ご協力のほどをお願いいたします。

最後になりましたが、卒業生の皆様方のご清栄と同窓会のご発展を心より祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

追伸

去る6月15日付け新聞紙上で「近鉄内部・八王子線廃線の危機」について報道されました。四日市市議会は存続策を検討する特別委員会の設置を決めるとともに、近鉄は市に赤字補填を求めており、来夏ごろに将来の方向性を決めると伝えられています。

本年度、本校生徒の68%が八王子線を通学等に利用しています。今後、関係団体、沿線学校とも連携を取りながら、生徒の通学の便を守るべく取り組んでいく所存です。同窓会の皆様からのご支援・ご協力いただけますようどうかよろしくお願いいたします。

OBS Lecture OB講演会

平成24年7月13日

2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

㈱日本旅行 四日市営業所課長 曾根尚次(26期)

旅行するなら《観光orリゾート?》《飛行機or列車?》《ホテルor温泉旅館?》

こんな問いかけから始まった講演会。今年の修学旅行の引率をしていただく曾根さんです。

優秀な生徒が集まった南高生活は受け身の目立たない生徒であったとのこと。大学では生協の委員になって積極的に活動し、楽しい大学生活を過ごされました。自分で考え行動すること、一つでもいいから打込むことの大切さを話されました。

また、旅行業の仕事で大切にしていることを丁寧に話して下さいました。①相手の希望を多く聞いて、②+αの追加提案をし、③お得と感してもらえものにする。仕事に対する情熱を感じた講演でした。



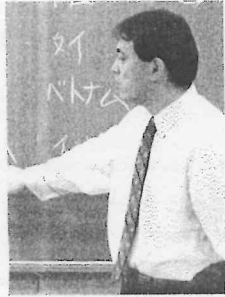
土田会計事務所 (公認会計士・税理士)

土田 繁 (30期)

ご自身が組織に属さない働き

方として、会計士・税理士を選んだのは、人の役に立つ仕事が出来たと思えたことがきっかけだったそうです。そして仕事の内容やどうすればなるのかをご自身の様々な経験からお話いただきました。南高時代バレー部で活躍され、クラブなど南高での生活が今の仕事にも活きているということでした。

また、今やっている仕事の中で、一番やりたいことは、企業の海外進出を支援する仕事で、コンサル会社を設立されているそうです。組織に属さない働き方だからこそ、自分にしかできない仕事や、新しいことに挑戦ができ、可能性を追い求めることができるということでした。



㈱日本気象協会(気象予報士) 榎原淳子(31期)

気象予報士の仕事は、テレビの天気予報など、華やかなイメージが強いですが、他の仕事へのコンサルタントとしても活躍されているそうです。甲子園で試合が行えるかの判断や、スカイツリーの建設作業ができるか

の判断、スーパーやコンビニで商品を売り出すタイミングなどにも気象予報士が深く関わっているそうです。また、箱根駅伝で実際に使った原稿を読んでもだざり、その美声に生徒たちからは盛大な拍手が起きました。



最後に、仕事に就く「きつかけ」はいつでもあるかわからないが、「好きなもの」に拘ることによって自分を活かす仕事に就いてほしいという言葉を頂きました。

㈱京設工業 設計グループ主任 小泉友香(35期)

幼い時から無類の絵好きな南高校在学時は美術部に所属し、美大を目指していました。夢が叶って、京都で「ランドスケープ学科」に籍を置いて、自由な息吹を感じながら、日本庭園に入り浸りの日々。大学卒業後は、地元造園会社にUターン就職したものの、デザインの煌びやかな世界から縁遠く、思い描いていた理想とは無縁の世界でした。転職を意識し始めたものこの頃。個性を見つめることから始め、CADの専門学校に通いながら、その専門性を活かす機会を伺っていました。

その日は突然にやって来まし
た。それが今の会社です。「若さを武器に先輩に教を乞う」こと四年。東京本社への辞令。不安や迷いはあったものの、流れに身を任せてみました。それから数年の歳月が経ち、帰宅時間は23時が1か月以上続くことも。納期に追われながら、部門のチーフとしてクライアントの無理難題に答える日々を送っています。もう、かつての迷いや悩みに明け暮れる弱い私はそこにはありません。



㈱ナプテスコ 船用カンパニー技術部 榎原隆嗣(35期)

ナプテスコ株式会社は、工業用ロボットのアーム部分やトラックのブレイキ・飛行機の油圧制御部分・大型船用エンジン遠隔操縦装置等の他にも自動ドア・車いす・義足等の身近なものも作っています。榎原さんは金沢大学工学部で車いす等の機器に興味を持たれ、この会社に入社したそうです。ところが、実際に配属されたのは、機械制御システムでその後、ナプテックでの設計の仕事を経てオランダのNAMMICで6年間アフターサービスの仕事に就き今年3月ナプテスコに戻ってきました。



講演内容は、大型船について一般知識から、船用装置設計の仕事の流れとやりがいや苦労した点・アフターサービスの仕事内容とやりがいと苦労した点を話してくれました。

また、オランダ紹介やオランダでの生活について、自らの経験をもとに丁寧に話をしてくれました。

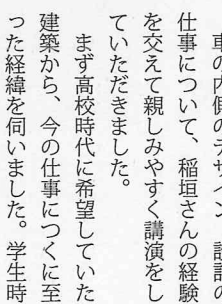
一方、高校時代ハンドボール部だったことも紹介し、ハンドボール部の生徒にも激励の言葉をかけてくれました。

稲垣陽子(42期)

車の内側のデザイン、設計の仕事について、稲垣さんの経験を交えて親しみやすく講演をしていただきました。

まず高校時代に希望していた建築から、今の仕事づくりに至った経緯を伺いました。学生時代は、日頃の学習や部活をしっかりすることや、いろいろな学部や学科の友人を作ると将来の付き合いの幅が増えることなど、アドバイスをいただきました。

稲垣さんは、車の燃費や強度などを解析し、試作・再検討を繰り返しながら、新しい車を設計してみえるそうです。設計・開発が計画通りできたり、自分の作った車を実際に運転したりするときに、仕事にやりがいを感じるという話でした。



大震災の個人でできる対策についてもお話しいただきました。



教育実習

Teaching Practice

今年も教育実習が行われました。第47・48期生の方々に感想をお聞きしました。

谷村健斗(生物)

48期生

2週間の教育実習が終わってまず、あつという間だったかなと感じました。初日から授業をさせてもらうことになったのですが、教壇に立ち教科書をめく手が震えたのを覚えています。初めて授業を終えたときは、授業の反省よりも45分続けたという安ど感でいっぱいでした。授業する回数を重ねるたびに、板書の構成や時間配分、発問の工夫など、授業の質を向上させる為にはどうすればよいだろうか、と思えるまでになりました。

小林紗希(国語)

48期生

たった2週間だったので教師のほんの一部も体験できなかったかもしれないですが、少しでも生徒とかわかることができ、この仕事やりたいたいという気持ちが一層高くなりました。

山本明加(体育)

48期生

教育実習に来るまでは、教育実習はただ大変なものだと思っていました。ですが実際に来てみると、そんなことはなく、とても楽しいものでした。授業の準備は確かに大変でしたが、楽しいことのほうが多かったように感じます。この実習を通して



平成24年度前期教育実習生

- 【国語】小林紗希
- 【地歴】西田美逸・森喜隆・竹内峻
- 【数学】堀田真麻
- 【理科】山梨彩華・萩原慎之・谷村健斗・三橋直哉
- 【体育】櫻井利充・藤森千尋・山本明加・小林優希
- 【音楽】水谷早希

多くを学ばせていただきましたが、人との関わりの大切さを改めて学ばされたと感じています。体育祭などの行事や日々の生活を過ごしていく中で多くの先生・生徒と関わらせていただきました。

藤森千尋(体育)

48期生

私はこの実習を通して、改めて教師になりたいと感じた。毎日、指導案・部活動の日々で本当に忙しく、寝不足で思うように動くことができないことが多々ありました。3週目のマツト運動の研究授業で、後転のできなかった生徒が伸膝後転をきれいにできた瞬間に、この瞬間があるから教師になりたいのだと気づきました。採用試験前の貴重な経験となりました。

山梨彩華(物理)

48期生

教育実習を終えて、私は人として大きく成長することができました。まず一つ目に、思いやる心です。教師は本当に生徒のことを中心に考えて行動しているのが実習をしてみて、とても感じました。私も生徒がどうすれば理解してくれるのか、生徒のためにいいのかを考えて過ごして、私生活でも思いやりを持って行動できるようになつたと思います。次にプレゼンテーション

これから教育実習を希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

躍進する部活動

Club Activities

野球部

現在部員は、1年生13名、2年生9名、3年生18名、計40名です。文武両道の精神に則り、勉強と部活動の両立を基本とし、限られた時間の中で質の高い練習を心がけています。今年春季大会でベスト4の経験を生かし、夏の頂点を狙います。

『一球入魂 全力プレーを誓います 野球部一同』
春季大会準決勝対三重高戦、8回表、相手投手は選抜の甲子園でも活躍した三浦投手。得点は2対5の3点差。もはやこれまでかという空気も流れた。けれど選手たちはあきらめることなく打席に向かった。先頭が四球で塁に出ると、ヒット、四球、失策を絡め同点に追いついた。三浦投手にもあきらかに動揺が見られ、こごととスクイズのサインを出した。見事に決まり逆転に成功した。9回表の守備、最後のバッターをアウトにとる前に、すでに泣いている選手もいた。

まだ終わっていないという気持ちはあつたが、感情は抑えられなかった。ゲームセット、大金星を挙げたが、その後の試合では、自分たちのプレーを出せず惨敗した。この経験を生かし、夏こそは頂点へという思いが膨らんだ。



イラスト部

イラスト部の活動は「月水金」です。部室に集まって和気藹々とイラストを描いております。その成果を年2回、9月と1月に部誌として出しています。その他、2月の終わりに、3年生の卒業記念に手作りのイラスト集を作ります。3月には新入生歓迎用の「カラーイラスト集」を手作りしています。一度見に来てください。

剣道部

本年度剣道部は、2年生が2名(いずれも男子)という少人数で始めました。団体戦は人数不足で出場できませんでしたが、総体の6月に1年生男子が2名入部しました。総体の後も、秋季大会や新人大会に目標を定め、練習をしていきます。

天文部

3年生7名・1年生2名で活動しています。今年は、金環日食、金星の太陽面通過、ペルセウス座流星群の極大期に新月となるなど、天文現象での話題が豊富な年です。残念ながら、日蝕の観測は雲に阻まれて、金環状態を観測する事はできませんでしたが、部員一同今後の天文現象に期待して観測を続けてゆきます。

演劇部

お元気ですか。今年も大勢入部しました(男子7人、女子5人)。みんな個性派です。昨夏

は「23・4度にあなたは居る」(既成)を上演しました。あと一步のところでした。春大では『0315』僕らのパースデー(中村汐里(1年生)の創作)で金賞でした。夏大の出し物も決まり、県大めざして毎日活動しています。今年もご指導よろしくお願ひします。

硬式テニス部

天候に恵まれた今年度の高校総体、団体戦にて、男子は2回戦で、第2シードの鈴鹿高校と対戦し、敗退しましたが粘りある健闘でした。女子は昨年夏の大会で落としたシード獲得をめざし、5位入賞を果たしました。新1年生を多数迎えて、元気に練習をしております。今後とも支援よろしくお願ひいたします。

吹奏楽部

3月末の第24回定期演奏会には、約千五百人のお客様においでいただきました。多くの先輩方のご協力により無事演奏会を終了することができました。本当にありがとうございました。本年度も部員98名、一丸となってコンクールやコンテストで昨年同様、ベストを尽くし、豊かな音楽を奏でたいと思います。

水泳部

昨年同様に本校のプールは使用できないため、部員は各自スイミングスクール等で練習をしております。そのため各部員にはプール使用料やスイミングの

月謝等の経済的な負担をしてもらっています。今年度は3名の新入部員を加え、5名の部員で東海大会出場を目標に頑張っておりますので、ご支援よろしくお願ひします。

茶道部

12名の新入生を迎え、25名の部員となりました。外部講師の羽木千松先生に指導いただいたき、表千家流のお点前を毎週水曜日に作法室で稽古をしています。忙しい日々を過ごす高校生活の中和室で「作法」を学び、心静かなひと時を楽しんでいます。9月の南高祭には茶席を設け、浴衣姿でおもてなしをしております。ぜひおいで下さい。

電算無線部

3年生1名、2年生1名の2名で活躍しています。無線交信に興味がある生徒がいるものの、昨年度に耐震工事の関係でシャックが撤去されました。今年度はワープロの他、表計算やパワーポイントなど、パソコンの学習を中心に取り組み、パソコン検定に挑戦しています。

バスケット部

2年生は男子11人、女子6人、1年生は男子13人、女子3人、マネージャー5人で活動しています。平日の放課後は体育館練習と陸上トレーニングを行います。土日祝日は積極的に練習試合に行き、日々チーム力の向上に努めています。強豪校が多い

北勢地区で勝ち進み、県大会で少しでもよい成績が残せるように頑張ります。

美術部

私たち美術部は、今年度は新入生3人と2年生2人を新たに迎え、3年生4名、2年生4名、1年生3名の合計11名で毎日制作活動をしています。毎年恒例の夏休み合宿は、昨年同様「絵かきの町・大王」にて、桑名高校等との3泊4日の合同合宿とし、他校との交流で互いに刺激しあい、南高祭に向けて意欲的に制作していく計画に、部員一同着々と準備をしているところです。

舞曲部

今年度の南高祭は四日市文化会館の展示棟にて展覧会を行います。今年度はスペースが広いため、1学期の早い段階より各自大作に挑戦したり、様々な画材を駆使したりしながら制作に励んでおります。その後は10月のみえ高文祭や来年3月の北勢展への出品など、今後控えている展覧会にむけ、各自制作に頑張っている毎日です。

文芸部

昨年度は校内でフリーペーパーを配布するという新たな試みを行いました。また、昨年度同様、今年度も県下の文芸部員が集まる交流会や講習会などに多く参加しています。このことをきっかけに他の3つの高校と合同でリレー小説を書くこととなりました。残念ながら文化祭

には間に合いませんが、どこかで発表したいと思っております。

陸上競技部

5月末の県高校総体では男子8種競技において3位入賞を果たし、東海インターハイに出場することが出来ました。3年生のほとんどは引退しましたが、男女31名の部員がそれぞれの目標に向かって意欲的に活動しています。今後は、秋の新人大会や駅伝大会において一人でも多くの部員が自己記録を更新し、東海大会出場を果たせるよう精進していきたくと思います。

卓球部

3年生5名、2年生9名、1年生15名の計29名という昨年度以上の大所帯になりました。昨年は、夏の演奏会に3位入賞を果たしました。今年度は8月4日(土)松阪市民文化会館にて演奏会が行われます。最近では週3回練習日を設け、生田流正派大師範の森雅生先生の指導の元、熱心に練習に取り組んでおり、昨年以上の好成績が期待されます。お時間ございましたら、是非足をお運び下さい。

サッカー部

今年度のサッカー部はがんばって練習するものの、公式戦では勝てずに苦しい日々が続いた。このままで大丈夫かなと不安だったと思う。良いと思うことは積極的にトレーニングに取り入れ、他人の声にも耳を傾けた。最後の県総体はベスト8。本当によく頑張ったと思う。

バドミントン部

高校から始める初心者がほとんどですが、月・水・金曜の放課後に加え休日も練習に励み技術力の向上に努めています。簡単そうに見えますが、とてもハードで奥の深いスポーツです。5月末の県総体の団体戦で、女子は並み居る強豪校がいるなか見事ベスト8に入賞することができました。

ワンダーフォーゲル部

3年男子1名、2年男子3名、1年男子4名女子2名の計10名で活動しています。本年度の夏

だれもが歓迎されていると思える「精神を体験的に学んでます」

サッカー部

今年度のサッカー部はがんばって練習するものの、公式戦では勝てずに苦しい日々が続いた。このままで大丈夫かなと不安だったと思う。良いと思うことは積極的にトレーニングに取り入れ、他人の声にも耳を傾けた。最後の県総体はベスト8。本当によく頑張ったと思う。

卓球部

3年生5名、2年生9名、1年生15名の計29名という昨年度以上の大所帯になりました。昨年は、夏の演奏会に3位入賞を果たしました。今年度は8月4日(土)松阪市民文化会館にて演奏会が行われます。最近では週3回練習日を設け、生田流正派大師範の森雅生先生の指導の元、熱心に練習に取り組んでおり、昨年以上の好成績が期待されます。お時間ございましたら、是非足をお運び下さい。

バドミントン部

高校から始める初心者がほとんどですが、月・水・金曜の放課後に加え休日も練習に励み技術力の向上に努めています。簡単そうに見えますが、とてもハードで奥の深いスポーツです。5月末の県総体の団体戦で、女子は並み居る強豪校がいるなか見事ベスト8に入賞することができました。

ワンダーフォーゲル部

3年男子1名、2年男子3名、1年男子4名女子2名の計10名で活動しています。本年度の夏

合宿は未定ですが、昨年は中央アルプスの木曾駒ヶ岳から南駒ヶ岳まで3泊4日で縦走しました。秋以降は沢登り、冬はスキー練習など、「楽しく安全に」を心がけて活動しています。

軽音楽同好会

現在軽音楽同好会には、2年生31名、3年生27名の合計58名が在籍しています。本年度から新入生の募集を取りやめ少し寂しくなりました。しかし、部員はいくつかのバンドを組織しチームで活動しています。また、社会貢献活動にも積極的に参加し音楽を通して社会のお役にたてればと日々活動しています。

ソフトテニス部

男女一緒に、平日の放課後は1面で、休日、夏休みなどは3面で平日練習をしています。3年生が引退し、男子は1年生2名、2年生6名、女子は1年生11名、2年生5名の合計24名で活動しています。

団体戦で女子は昨年の新人大会で16本リードから落ち、東海予選、県総体と復帰できませんでしたが、男子は東海予選、県総体でベスト16でした。個人戦は男子はベスト64に1ペア、女子はベスト32に1ペア、64に1ペアが入りました。団体・個人ともに、もう一つ上を目指して頑張っています。今年の夏は、練習試合を多くこなすことで自分たちの技量を磨くよう計画しています。

進路状況

本年度の卒業生数は、8クラス(内、数理コース2クラス)の合計319名でした。進学者数は303名(内男子134名)で、全体の95%が進学しました。ただし、残り5.0%は浪人生でした。

数理コースは卒業生の58.7%が国公立大学に、30.0%が私立大学に進学しています。学年全体の40%が国公立大学の進学者で占められています。

国公立大学の延べ受験者数は343名、合格者数は140名、入学者数は129名です。合格率は40.8%(入学率は92.1%)でした。国公立4年制大学の現役生と過年度生合計の合格者数は150名です。

現役生の主要な国立大学合格校は、難関大では北海道大(1)、京都大(1)、名古屋大(6)、神戸大(1)です。ついで、お茶の水女子大(1)、東京芸術大(1)、横浜国立(1)、金沢大(5)、名古屋工業大(8)、三重大(47)、信州大(5)、静岡大(3)、岐阜大(6)、広島大(1)となっています。

公立大学合格校では、首都大(2)、名古屋市立大(8)、愛知県立大(4)、京都府立大(1)、大阪市立大(1)、神戸市外国語大(1)となっています。学部別の特徴では工学部系統の合格者比率が32.9%(昨年42.5%)

を占めており、例年のことながら本校の大きな特徴となっています。今年も昨年同様、文学、教育にも合格者が多かったです。さらに今年も全国的にも資格系学部である看護に志願者が集まった傾向がみられましたが、本校でも昨年並みの志願者数であったが合格者数は厳しい結果となりました。

岐阜大を志願する生徒が増加し、本校の合格者は昨年1名だった合格者を6名出すことができ、さらに富山大、金沢大、福井大、鳥取大、徳島大などの地域の大学では、センターリサーチ後に志願状況が大きく変わる大学・学部も見られましたが、十分な2次対策を行い、後期まで受験しに行くことで合格を得られた生徒が目立った入試でした。

1年次からの担任との面談を中心としたきめ細かい指導の積み重ねと、センター試験後の1月後半から2月、3月の対策の成果が表れたと考えられます。私立4年制大学の延べ受験校数は1,630校、重複を除く受験者数は302名です。平均併願数は5.39(昨年5.0)になります。

受験者動向における第一の特徴は、一般入試前日程の受験者数(延べ843人)が昨年(延べ696人)より大きく増加しました。次にセンター利用前期

では受験者数(延べ635人)は昨年(延べ624人)より微増し、合格率も60.3%と昨年(54.5%)から上昇しました。

学部別の合格状況は、工学系が24.2%と群を抜いて多く国公立大と同じ傾向です。ついで、文学系(17.8%)となっています。また国公立大では教育学部の合格者が19.3%であったのに対し、私立大では60%と大幅に減少している状況がみられます。

工学系が多いのは理系選択生徒が多いことによるものが中心です。今年の工学部系の本校の動向の特徴は、一昨年から減少した愛知工業大(28人↓52人)への受験者が約2倍増したことです。また中京大(193人↓251人)、中部大(30人↓45人)愛知大(33人↓84人)と増加しました。南山大(124人↓102人)では減少がみられました。名古屋駅近くにキャンパスが移転した愛知大は大幅に増加しました。名城大は全体として微増となり、理系学部の農・理工では受験者が増加する一方で文系学部での受験者の減少が目立ちました。近年の特徴である安定志向の強まりで、地区上位大学の次のランクにある大学を確実に押さえる傾向が見られました。

今後地域への期待を担う進学校として大いに飛躍したいと考えております。先輩諸氏のご指導ご鞭撻をお願い致します。(進路指導部 鈴木正司)

2012年入試 大学等合格者数 (国公立大は浪人含む)

大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格
北海道	2	鳥取	1	広島市立	1	東京農業	4	桜花学園	2	名城	159
山形	1	島根	1	福山市立	1	東京理科	2	金城学院	33	皇學館	32
千葉	1	広島	1	名桜	1	東洋	1	至学館	1	鈴鹿医療科学	28
お茶の水女子	1	徳島	1	公立大学計	34	日本	1	修文	1	四日市	1
東京芸術	1	宮崎	1	神田外語	3	日本体育	1	福山女学園	24	四日市看護医療	8
横浜国立	1	国立大学計	116	東京成徳	1	武蔵野	2	大同	14	京都産業	6
富山	6	会津	1	北里	1	明治	4	中京	122	京都女子	6
金沢	6	首都大学東京	3	国立音楽	2	明治学院	1	中部	31	京都薬科	1
福井	1	横浜市立	1	慶應義塾	2	立正	1	東海学園	1	同志社	9
山梨	1	富山県立	1	国士舘	1	早稲田	1	豊田工業	2	佛教	4
信州	5	福井県立	1	駒澤	1	麻布	1	名古屋音楽	1	立命館	42
静岡	3	静岡文化芸術	1	芝浦工業	1	金沢工業	6	名古屋外国語	11	龍谷	7
愛知教育	5	愛知県立	4	昭和薬科	1	福井工業	1	名古屋学院	4	大阪工業	2
名古屋	7	名古屋市立	8	成城	1	岐阜医療科学	1	名古屋芸芸	11	関西	10
名古屋工業	8	滋賀県立	2	専修	1	岐阜聖徳学園	2	名古屋芸術	11	近畿	6
岐阜	6	京都府立	1	創価	4	中京学院	1	名古屋商科	4	関西学院	7
三重	48	大阪市立	1	多摩美術	1	愛知	35	名古屋女子	18	甲南	1
滋賀	1	神戸市外国語	1	中央	2	愛知学院	26	名古屋造形	2	神戸学院	2
京都	1	兵庫県立	1	東海	10	愛知医科	6	名古屋文理	1	神戸学院	2
大阪教育	4	鳥取環境	1	東京音楽	2	愛知工業	35	南山	51	私立大学計	894
神戸	1	島根県立	2	東京工科	1	愛知淑徳	47	日本福祉	5	岐阜市立女子短大	1
奈良教育	1	岡山県立	2	東京都市	1	愛知みずほ	1	藤田保健衛生	5	三重短大	12

注意ください!! 同窓会名簿を作成するという名目で、調査ハガキが多くの同窓会員に郵送されており、往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

先生お元気でですか？

長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

【アンケート項目】

- ①南高を転退職されたから何年になりますか。
- ②現在のお勤め先(お仕事)と併せて近況をお聞かせください。
- ③趣味あるいは余暇の活用などの様子をお聞かせください。
- ④南高時代の最も印象に残っていることはどんなことですか。
- ⑤南高及び南高生、同窓生にご助言、メッセージをお願いします。

中村恭子 先生

①新規採用で平成3年4月から平成8年3月までの5年間、南高で勤務していました。それから早いもので16年が過ぎました。

②現在は、四日市四郷高校で勤務しています。現在7年目で、分掌は進路指導部、クラブは演劇部の担当です。年を重ねてきましたが、いまだに初めて取り組む仕事が多くあり、勉強の毎日です。南高時代にお世話になった多くの先生方が、大学や他の高校等で活躍されていて、また違った形で



小旅行にでも行ったりできたからと夢見えています。娘が小学生の頃は、年に1回、ピアノの発表会で一緒に連弾をする機会がありました。そのため練習をするのが楽しい時間でしたが、今は、お互いに忙しくてできません。時間を上手に使えるようになりたいと思っています。

④顧問をしていた卓球部の活躍英語(インターアクト)部の部員数が多かったこと、英語のスピーチコンテストにむけて頑張っていたこと、担任していたクラスの皆の元気な姿・・・たくさんの思い出があります。皆、勉強にも部活動にもしつかりと取り組み、行動力もあり、頼もしい存在

でした。

⑤私が南高に勤務していたときに生徒だった卒業生と同じ職場で働いたり、近況を聞かせてもらったりする機会があり、皆さんそれぞれ活躍されている様子が刺激を受けています。高校時代から高い志を持っていた人が多く、またその夢の実現にむけて努力を重ねられ、目標を達成されていることを耳にし、感心しています。今も、部活動等で南高生と接する機会がありますが、何事にも積極的に取り組むたくましい姿は昔と変わらないと感じています。これからも皆様がそれぞれの持ち味を活かされ活躍されることをお祈りしています。

⑤私が南高に勤務していたときに生徒だった卒業生と同じ職場で働いたり、近況を聞かせてもらったりする機会があり、皆さんそれぞれ活躍されている様子が刺激を受けています。高校時代から高い志を持っていた人が多く、またその夢の実現にむけて努力を重ねられ、目標を達成されていることを耳にし、感心しています。今も、部活動等で南高生と接する機会がありますが、何事にも積極的に取り組むたくましい姿は昔と変わらないと感じています。これからも皆様がそれぞれの持ち味を活かされ活躍されることをお祈りしています。

母校に着任して

47期生 小川晶楽

南高生として三年間、音楽部のボイストレーナーとして二年間。教育実習生として二週間。そして、一カ月半の非常勤講師を経て、常勤講師になってまた一月半。こんなにいるんな立場で南高とお付き合いできて、とても幸せだと思ってる。

初めて出勤した月曜日は朝から数I・数II・数Aの三連発。訳も分からず、ただ堂々とやるうと心に決めて向った、これまた初めての授業にドキドキしている1・5の教室。そうして懐かしさと新しさのつまった教師生活が始まった。

教職員異動

平成二十三年度末(敬称略)

【退職】

国語 平子 弘
 保健 神谷 斉
 社会 井上裕介

【転出】

学校長 増田元彦 (伊勢南高)
 国語 石田実貴 (桑名北高)
 数学 角山紗耶香 (おかげの学園高)
 国語 寺嶋賢治 (四日市四郷高)
 数学 鈴木かなえ (津西高)

【転入】

学校長 田中真司 (富川高)
 国語 平子 弘 (会津高)
 社会 廣田靖子 (四日市工業高)
 数学 野呂 淳 (倉山高)
 社会 後藤慎介 (いなべ総合学園)
 国語 片岡義剛 (神戸高)
 数学 小川晶楽 (新採用)
 理科 川尻裕大 (桑名工業高)
 保健 加藤英紀 (会津高)
 体育 神谷 斉 (会津高)
 事務次長 横井尚子 (津西高)
 司書 佐藤三重 (四日市港管理組合)
 早川亜矢子 (八居農林高)

【前任校等】

学校長 田中真司 (富川高)
 国語 平子 弘 (会津高)
 社会 廣田靖子 (四日市工業高)
 数学 野呂 淳 (倉山高)
 社会 後藤慎介 (いなべ総合学園)
 国語 片岡義剛 (神戸高)
 数学 小川晶楽 (新採用)
 理科 川尻裕大 (桑名工業高)
 保健 加藤英紀 (会津高)
 体育 神谷 斉 (会津高)
 事務次長 横井尚子 (津西高)
 司書 佐藤三重 (四日市港管理組合)
 早川亜矢子 (八居農林高)

平成24年度 総会及び懇親会

【日時】平成24年8月11日(土)
 【会場】四日市都ホテル

■午後2時より理事会
 ■午後3時より
 総会・講演会・懇親会
 講師：稲葉祐三先生



昨年の佐々木先生の講演

(昭和37年度～昭和56年度在職)
 (社会人2,000円、学生無料)

※「近鉄内部・八王子線廃線」に関する現状報告も行われます。今後の取り組みに向けて、ぜひ総会に足をお運びください。

第4回四日市南高校東京同窓会

【日時】平成24年10月13日(土)
 【会場】八重洲富士屋ホテル

■16時受付開始
 ■会費 6,000円(学割3,000円)

【お申し込み方法】

四日市南高校同窓会HPよりアドレスの登録をして参加申し込みを備考欄に記入してください。

同窓会役員

会長	粕谷邦男	(2期)
副会長	田中正	(2期)
	山路 熟	(14期)
書記	鈴木正司	(17期)
	大日方敏之	(15期)
	水谷正美	(23期)
会計	今村健治	(5期)
	小柳秀樹	(20期)
	石原正敬	(29期)
	小寺了俊	(9期)
会計監査	浦田 治	(19期)

【学校側】

顧問	田中真司	学校長
理事	佐藤三重	事務次長
	稲垣良二	教諭
	城西 利英	〃
	廣田育男	〃
	村野玉紀	〃

連絡先

〒510-8562 四日市市大字日永岡山4917
 三重県立四日市南高等学校同窓会事務局
 TEL.059-345-3177・3178 FAX.059-345-9549
 http://www.4nan.jp/dousou/ E-mail ds@4nan.jp